

2013年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子 決勝戦		勝チーム	敗チーム
試合日	2013.12.15		
開始時間	16:10		
会場	近畿大学記念会館		
会 場	A コート		
試合NO	158		

戰評

第1ピリオド

試合開始から、近畿大学#33藤田のシュートで試合が動きだし、近畿大のディフェンスでのシュートブロックで流れは近畿大へ。そんな中、関学大#23松田がリバウンドからのシュートでファールをもらい、粘っている。しかし、近畿大#22シェリフのディフェンスリバウンドには勝てず、関学大のオフェンスは単発で終わってしまう。第1ピリオドは、ディフェンスで流れを掴んだ近畿大が、23-9でリードしている。

第2ピリオド

近畿大#33藤田のオフェンスが止まらず、一気に点数が離れていく。なお、関学大は流れを掴みたいがミスの連発で中々勢いに乗れない。関学大はゾーンディフェンスをして、勢いを止めようとするものの、近畿大の華麗なバス回しによりゾーンディフェンスは崩れていく。近畿大#22シェリフを中心にインサイドから着実にスコアを重ねていく。関学大#7渡邊の3Pシュートが、決まりだし少しずつ追い上げていく。しかし、41-24で第2ピリオドも近畿大がリードで終える。

第3ピリオド

始まりから関学大のディフェンスが激しく襲いかかる。しかし、近畿大は焦らず攻めている。そこで、関学大#7渡邊が追い上げようと、3Pシュートを量産する。点数が縮み始め、逆転を計ろうとするが、関学大のミスが目立ち流れが傾かない。関学大はディフェンスで流れを掴もうと、関学大#23松田のブロックショットなどもあり、徐々に追い上げを計る。関学大が11点差まで、追い上げて、すかさず近畿大タイムアウトを取り、傾きかけた流れを再び取り戻す。だが、両者とも引かず、56-41の僅差で近畿大リード。

第4ピリオド

15点差から試合は始まり、互いに点を取り合い、まさに決勝戦らしい全く先が見えない戦いとなっている。近畿大#22シェリフが速攻からのタップシュートで近畿大が関学大を突き放そうとするものの、関学大は意地を見せ、最後まで諦めずに点を取ろうと必死にボールを追う。関学大#32浦里がスティールから点を決め、8点差まで追い上げる。しかし、近畿大#11室垣が声を出し、チームの中心となり、主導権を握り続ける。そのまま、75-60で近畿大学が優勝を勝ち取った。

主審	飯尾 勝紀	副審	木村 健太郎	戦評	青山 大輝(関西学連)
		記録	関西学生バスケットボール連盟		